

平成 22 年度 第 2 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム  
看護学グループ運営委員会議事録

- I. 日時 平成 22 年 9 月 8 日(水曜日)14:00～16:00  
II. 私立大学情報教育協会事務局会議室  
III. 委員 宮本委員・仲井委員・石橋委員（ネット参加）  
事務局 井端事務局長、森下主幹、渡邊職員

IV. 議事概要

検討事項

1. 学士力実現に必要な ICT 活用の具体的な検討について

5 年後の理想的な ICT を活用した授業デザインについて、資料②「学士力の実現を目指す授業の開発モデルの例示」に基づき以下の 2 つの授業モデルを策定することとなった。

a.在宅看護論実習前演習授業モデル

訪問看護サービス利用者の自宅を訪問して実習を展開する「在宅看護」の現場で必要となる看護・観察・思考過程などについて、事例を想定するなど PBL (Problem Based Learning) を採用した授業の設計を行う。

その際、以下の能力を養うこととする。

- ① 保健医療福祉チームが共有するデータを収集し、様々なデータを適正に処理し、チーム全体で活用できるよう加工する能力。
- ② シミュレーターを活用し、想定されるケアに関するチーム間協働・連携を判断する能力
- ③ 状況に応じて適切なデバイスを用いて正しく表現することで、チーム全体に的確に伝達する能力。
- ④ 個人情報保護法など ICT に関連した法規に則した看護をする能力。

上記の授業デザインは、主として「看護系大学におけるモデル・コア・カリキュラム導入に関する調査研究」（第一回報告）における「IV. ケア環境とチーム医療づくりにかかわる実践能力 (19)保健医療福祉チームでの協働・連携」に準拠し作成する。

b.看護学方法論演習授業モデル

OSCE「Objective Structured Clinical Examination」導入などを視野に入れ、看護に求められる問題の把握・情報収集・分析・介入など看護職に必要な思考過程を的確に実践できる能力について、ICT を活用することで可能にする授業モデルの設計を行う。また、電子カルテなどについての記述・利用などについても演習の課題のひとつとする。

上記の授業デザインは、主として「看護系大学におけるモデル・コア・カリキュラ

ム導入に関する調査研究」(第一回報告)における「Ⅱ. 根拠に基づく看護を展開する実践能力 (5)看護の展開方法」などに準拠し作成する。

### 3. 今後の検討スケジュールについて

2つの看護学系授業モデルは、10月初旬を目処に素案を担当委員が策定し、委員間で回覧し完成度を上げた上で、11月の第3回看護学グループ運営委員会において討議する。

### 4. その他

第3回看護学グループ運営委員会は、11月2日(火曜日)14:00～16:00に開催する。

以上